

The DENSO logo is displayed in a bold, italicized red font.

Crafting the Core

AI駆動開発のラストワンマイル

非エンジニア研修と社内ハッカソンが残した 運用課題

株式会社デンソー

八神祥司

Agenda

1. 自己紹介
2. 二つの行き止まり
3. 壁の正体
4. 発想の転換

1

自己紹介

自己紹介



八神 祥司

普段の業務ロール

SRE / CCoE

デンソー社歴

2024年 入社

有志活動

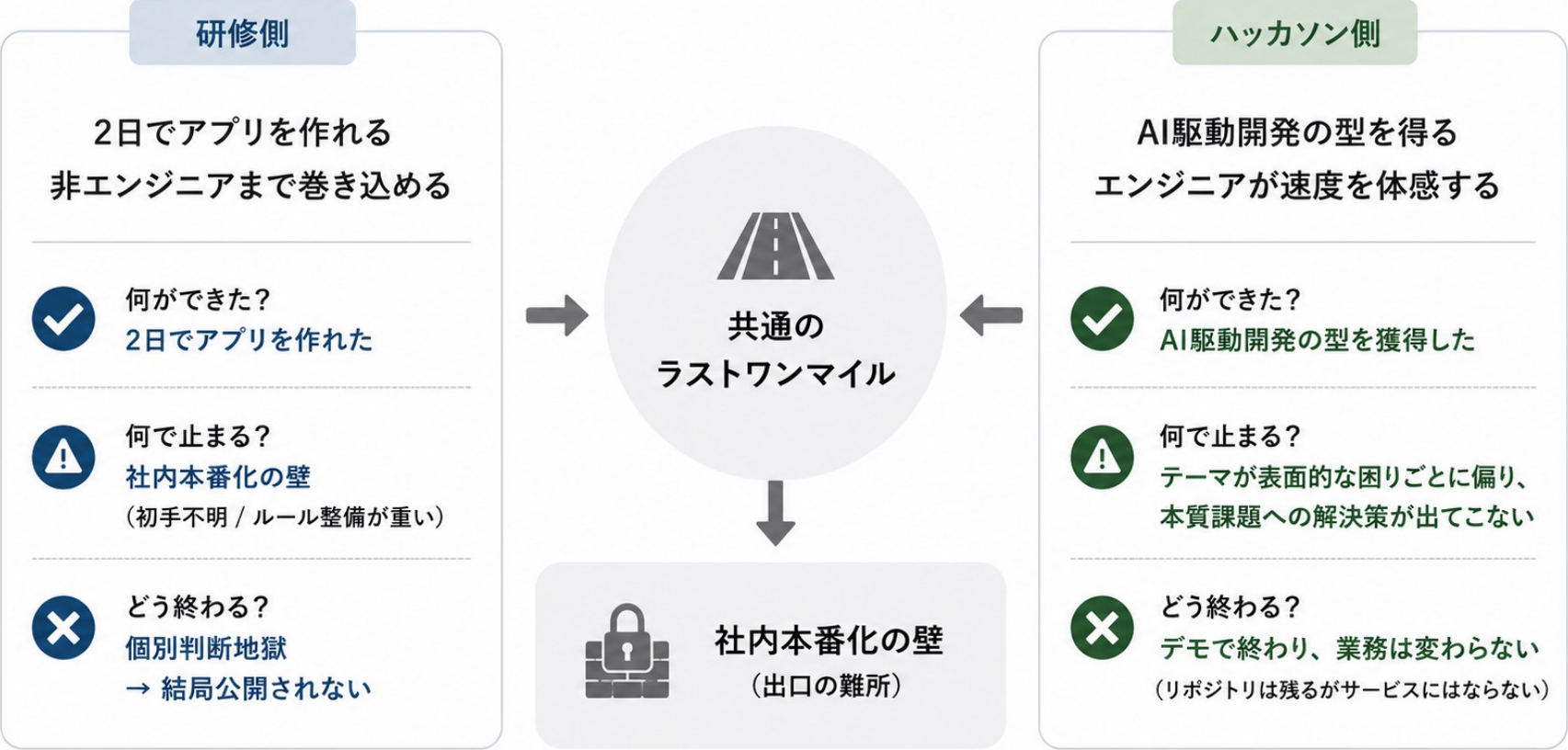
社内AI研修 / 部内ハッカソン運営

2

二つの行き止まり

研修とハッカソン

課題の顕在化



入口は違うが出口で同じ景色になる

出口を設計しないとAI民主化はラストワンマイルで詰まる



出口 = 承認・公開・運用への道

作れる人が増えるほど出口の問題は必ず前に出る

3

壁の正体

市民開発のジレンマ

放任は事故を、統制は停滞を生む



緩める未来

- ✓ 野良アプリが増える
- ✓ 事故が起きる
- ✓ 市民開発が禁止される



締める未来

- ✓ 手作業の統制が増える
- ✓ スピードが落ちる
- ✓ 市民開発が止まる

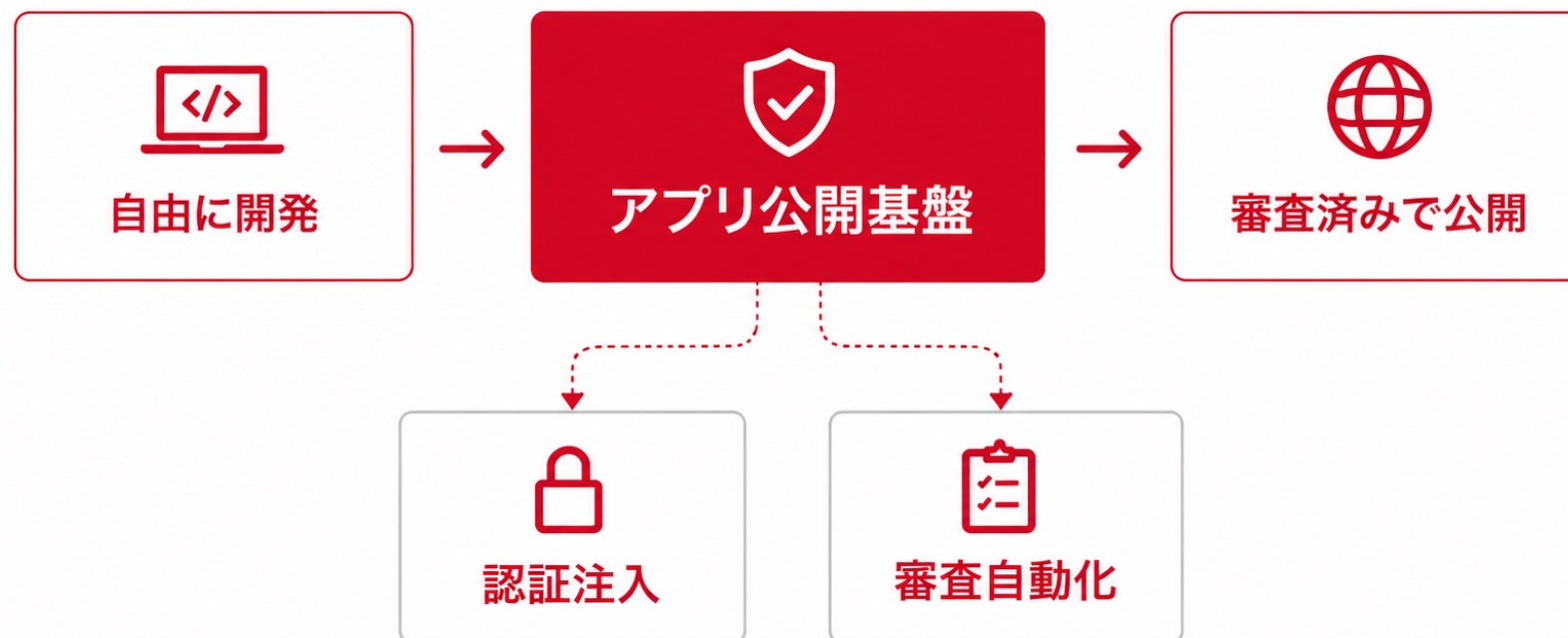
緩めても締めても市民開発は行き詰まる

4

発想の転換

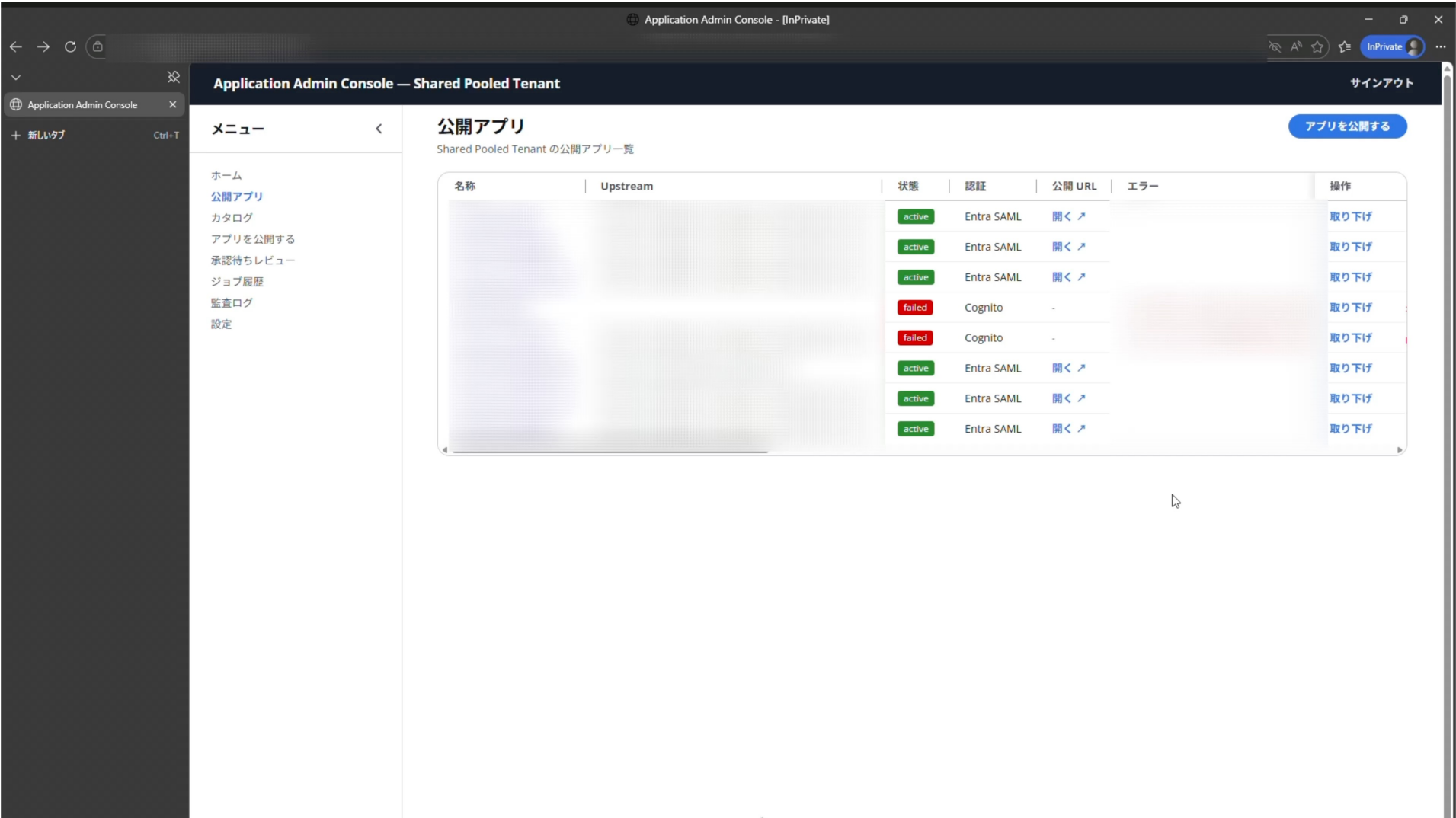
通れば守られる道

通れば守られる道がアプリ公開基盤の正体

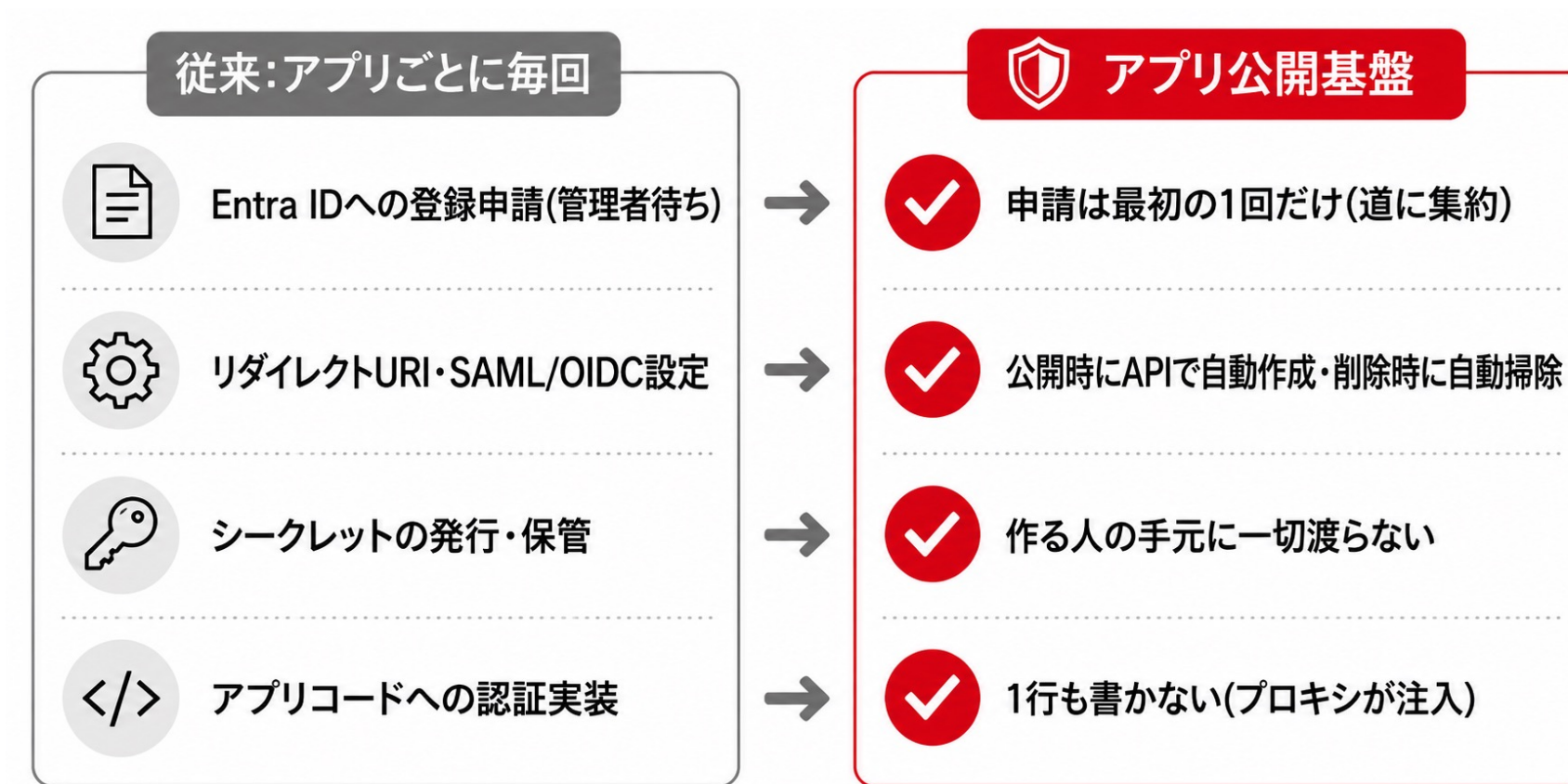


放任と統制の間にある「ガードレール型」の出口設計

アプリ公開基盤動作サンプル：通すだけで認証がかかる

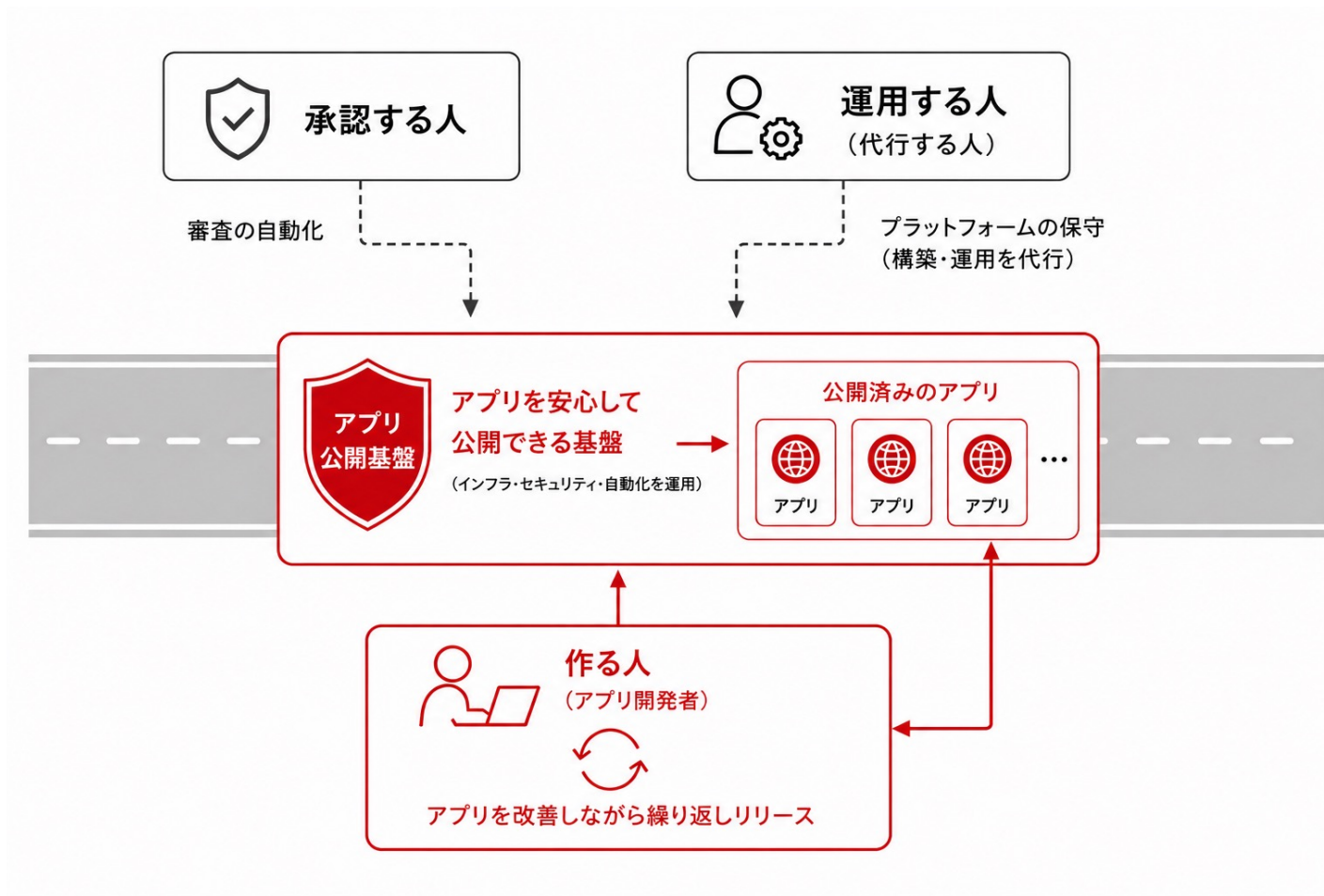


認証注入の裏側：申請と設定は"道"が代行する



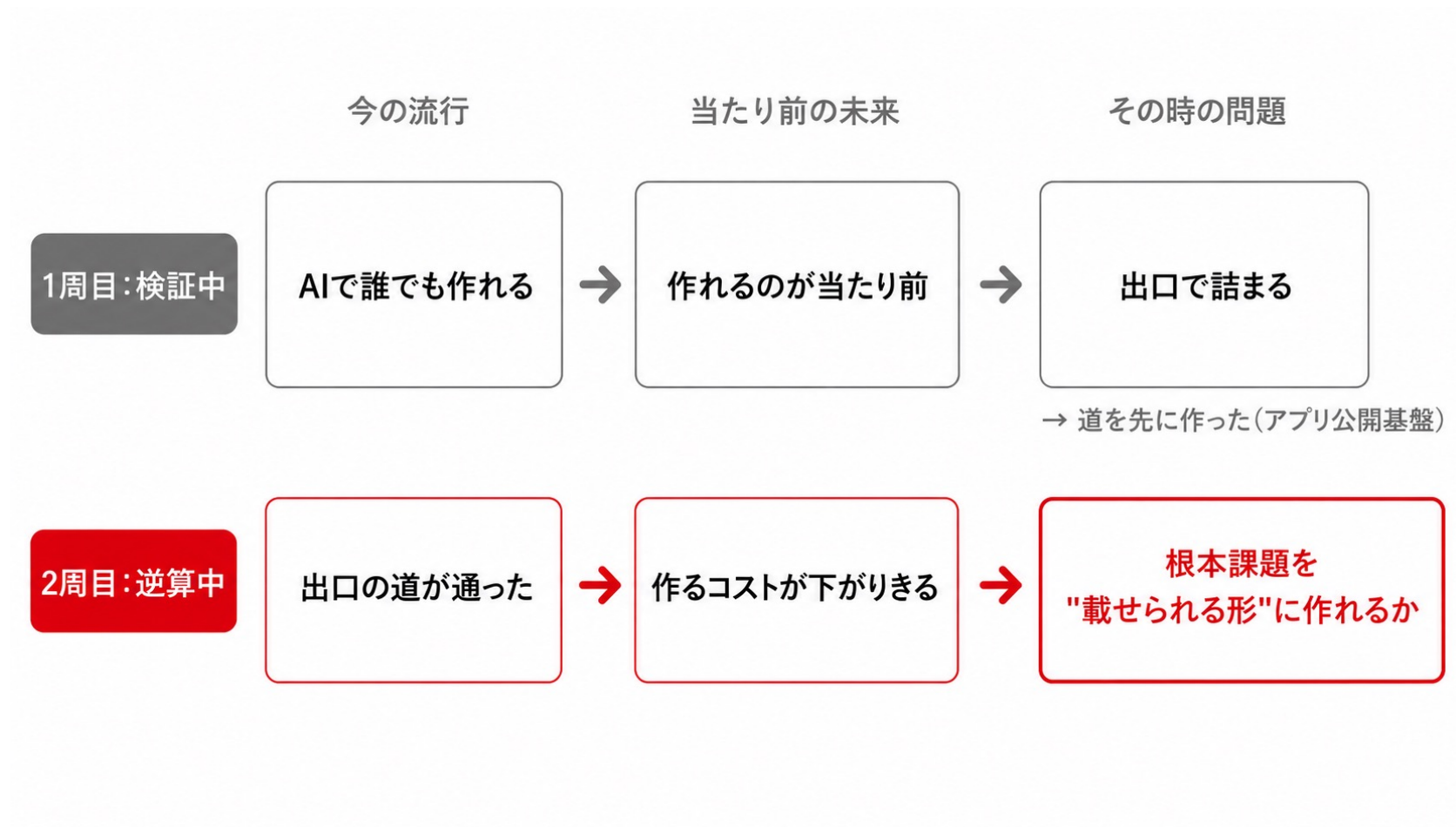
作る人の認証ToDoを、ゼロにした

道は通ったが検証はこれから始まる



移し替えは成立するか、これから確かめる

先回りは「当たり前の未来」から逆算する



次は、載せられるものをどう作るか

出口を設計するとは、未来の問題に先回りして備えること。

そのために必要なしくみ・ルール・道筋を、今から整えておく。

DENSO

Crafting the Core